

新型コロナウイルス

年末年始の感染予防について

十日町市・津南町のみなさまへ

現在、新型コロナウイルス感染症は冬の到来を前にして感染患者が急増し、新潟県内においても新規陽性者の増加と介護施設をはじめ幾つかクラスターが発生しています。

医師会では十日町市や津南町と協力して年末年始は、休日一次救急診療センター（受付時間 AM8:30～PM3:00）を開設いたします。発熱や風邪症状がある方は、早めに電話の上受診（休日一次救急センターに電話相談：025-768-2034）してください。

また、地域外来・検査センターを開設し休日一次救急センターからの紹介で新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施する体制を整えるなど、医療体制が手薄とならないよう体制を整えてまいります。

住民のみなさま、今一度感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しながら年末年始をお過ごしください。

十日町市中魚沼郡医師会 会長 山口 義文

感染リスクが高まる「5つの場面」に注意しましょう

今年の冬は、いつもと違う初めての冬です。

年末年始の時期は、帰省や旅行が集中し感染リスクが高まります。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲食を伴う懇親会等

- 飲食の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の飲食に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫をしましょう

- 飲食をする場合は、少人数・短時間・なるべく普段から一緒にいる人と・深酒やはしご酒は控えて適度な酒量を守りましょう
- 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで
- 座の配置は斜め向かいに（正面や真横は、なるべく避けましょう）
- 会話するときは、なるべくマスク着用
- 換気が適切になされているなど工夫しているお店で
- 体調が悪い人は参加しない



このチラシは、株式会社丸山工務所様ならびに松隆会様のご協力により作成致しました